



みなみ  
横浜市立 南高等学校



所在地：横浜市港南区東永谷2丁目1番地1号 〒233-0011

電話：045(822)1910

FAX：045(826)0818

URL：

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/hs/minami/>

創立：昭和29年5月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

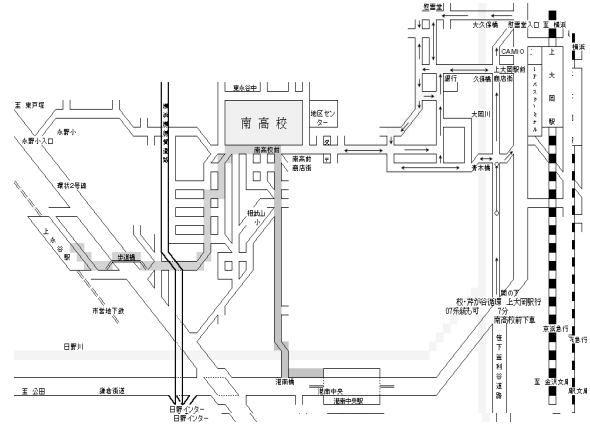
	1年	2年	3年	計
普通科	193	191	185	569
学級数	5	5	5	15

(生徒 学級数については令和6年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 京浜急行線上大岡駅より
  - ・徒歩18分
  - ・京急バス1番「南高校」行き「南高校前」下車
  - ・神奈中バス9番(71系統)「上大岡駅」行き、(202系統)「東戸塚駅」行き「南高校前」下車
- 横浜市営地下鉄ブルーライン上永谷駅より
  - ・徒歩15分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン港南中央駅より
  - ・神奈中バス(71系統)「上大岡駅」行き、(202系統)「東戸塚駅」行き「南高校前」下車



教育活動の特徴

■南高で育てる生徒像

南高の教育理念は「知性」「自主自立」「創造」です。また、教育の目的を「計画的・継続的な教育活動を展開し、横浜はもとより国際社会で活躍できる志の高いリーダーとなる人材の育成」としています。生徒たちは学校生活において、自主的活動の中で自他の在り方を尊重し、人と共に生きる社会性を育むとともに、グローバル化する社会の課題を理解し、将来の夢を大きく育てています。また、質の高い学習活動と適切な進路指導を通じて、自己の生き方を探求し、主体的に進路実現する力が育っています。

■すべての南高生が共に学ぶ

高校からの入学生と南高校附属中学校からの入学生は、多様な価値観を共有し豊かな人間性を育むとともに、質の高い学びを通して高い学力を身につけます。恵まれた学習環境の中で、積極的に学習と行事や部活動などに取り組み、互いに切磋琢磨し合うことで、充実した高校生活を送ることができます。すべての南高生が高い進路希望を実現できるよう支援しています。

■グローバル人材の育成

平成27年度から文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、グローバル人材を育てる取組を積極的に行ってきました。スーパーグローバルハイスクールの指定は令和元年度で終了となりましたが、今後は文部科学省スーパーグローバルハイスクールネットワーク参加校として、継続的にグローバルリーダーの育成に取り組んでいきます。

■横浜市教育委員会  
進学指導重点校に指定

横浜市教育委員会から進学指導重点校に指定されています。令和6年度の大学入試では、78名(41%)の生徒が、国公立大学に現役で合格しました。また、難関私立大学にも多くの合格者を出しました。これは、3年間にわたる継続的・計画的な進路実現へのサポートによるものです。南高では自己実現に向けた大学選択、明確な進路目標に基づいた支援を行っています。進路支援の方針は、生徒一人ひとりの力を最大限に伸ばし、希望する進路実現が図れるようにすることです。そのために、進路学習部と学年が連携し、学校が一体

となって、きめ細かいサポートを行っています。

具体的には、①1年生から進路目標を明確に持たせ、その実現に向け計画的な学習・進路支援を行います。②進路学習部から適切な進路情報を発信するとともに、エントランスの進路掲示板でさまざまな情報提供を行います。③1年生では分野別進路学習会、2・3年生では大学別説明会を行い、進学へのモチベーションを高めます。④外部模試を計画的に実施して実践的な実力向上を図ります。また、模試の受験後には本校教員による模試解説会を実施します。⑤長期休業中には大学受験に向けた講座を設置し、土曜日には土曜講座を開講するなど、弱点の克服やより高いレベルの学習をする機会を提供します。⑥長期休業中の指定日には図書館を開放し、自主学習を支援します。

## ■TRY&ACT 国内研修

南高では総合的な探究の時間を「TRY&ACT」と呼び、SDGsに関連した社会課題を協働的に解決できるグローバル人材を育成しています。クラス単位やグループなどで探究活動に取り組み、その成果を発表することで、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を身に付けています。希望者は「グローバルリーダープロジェクト（GLP）」に参加し、ソーシャル・ビジネスによる社会課題解決のため、リサーチ力や提案力を磨いています。令和5年度の、第11回高校生ビジネスプラングランプリでは全国5014件の応募からGLPの1グループがベスト10に選ばれ、審査員特別賞を受賞しました。

令和5年度は、1年生は東京で1泊2日、2年生は北海道で3泊4日の、課題探究や異文化理解をテーマとした宿泊研修を行いました。希望者による横浜SGH国内グローバルリーダー研修としては、広島での平和学習と立命館アジア太平洋大学（大分県）でのグローバル人材育成研修を2泊3日で実施しました。令和6年度はバンクーバーにある姉妹校への訪問も再開する見込みです。また、新たに海外への横浜SGHグローバルリーダー研修を計画しており、ニューヨークを訪問する予定です。



## —— 学校行事 ——

### ■合唱コンクール

合唱コンクールは、南高校附属中学生も加わり、全クラス参加の対抗コンクール形式です。学年ごとに課題曲があり、それに加えて自由曲を歌います。クラス全員が丸となって、完成度の高いコーラスを披露し、優勝を目指します。会場となった横浜みなとみらいホールに素晴らしい歌声を響かせました。

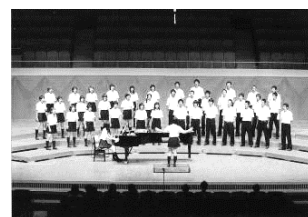
### ■南高祭（文化祭）

南高生・南高校附属中学生ともに一番人気がある行事は、体育祭の部・舞台の部・展示の部・後夜祭の部がある、4部構成の南高祭です。舞台の部は、体育館のステージを使って、歌・演奏・踊り等の発表の他、プロの方を招いての演技演奏を鑑賞します。一般公開されている展示の部は、クラスや部活動の発表や、地域の方々や小中学校との連携の場です。例年たくさんの皆様にご来校いただいています。



〔合唱コンクール〕 →

←〔体育祭〕



## —— 部活動 ——

### ■充実した施設

部活動はとても盛んです。南高にはいろいろな部があり、高い加入率を誇っています。人工芝の野球場、照明付きで5面もあるテニスコート、弓道場、ハンドボールコート、1周300mトラックがとれるグラウンドなど充実した施設を誇っています。

また、格技施設や屋外プール、雨天用のランニングコース、メインアリーナとサブアリーナまで備えている総合体育館もあります。トレーニングルームは平成29年3月に最新の機材に更新しました。恵まれた環境のもと、平成30年度・令和元年度は弓道部が連続して全国大会及び関東大会に（令和4年度も関東大会出場）、令和2年度、令和4年度、5年度にはコンピュータ部が全国大会、令和5年度には陸上部（個人）が関東大会に出場しています。また、他の部活動も上位大会進出を目指して努力しています。

学校行事や部活動で身につけたさまざまな力をもとに、さらに躍進しようとする生徒を求めています。仲間との協働により前向きに努力する人、積極的な姿勢を継続する人、…そのような生徒たちを南高は応援します。